

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が10例(男性4例(10歳代1例, 70歳代2例, 80歳代1例), 女性6例(20歳代3例, 30歳代1例, 60歳代1例, 80歳代1例))あり, 本年の累積報告数は21,144例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- アメーバ赤痢(腸管及び腸管外アメーバ症)の報告が1例(60歳代男性)(第46週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は7例になりました。

- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代男性1例)ありました。本年の累積報告数は39例となりました。

- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満男性)あり, 本年の累積報告数は16例となりました。

- 梅毒の報告が4例(30歳代男性1例(第43週追加報告分), 30歳代及び60歳代男性各1例, 30歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は63例となりました。

梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け, コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見, 早期治療が非常に重要です。

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

- 百日咳の報告が1例(50歳代男性)(第46週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は4例となりました。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

世界保健機関(WHO)は後天性免疫不全症候群(AIDS／エイズ)の蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に, 毎年12月1日を「世界エイズデー」に制定し, 世界各国でAIDSに関する啓発活動を行っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 4例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 226例(肺結核 78例, その他結核 73例, 潜在性結核感染者 75例)うち喀痰塗抹陽性 38例】
- 新型コロナウイルス感染症 10例【1月以降の累積報告数21,144例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例【1月以降の累積報告数 39例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類:梅毒 4例【1月以降の累積報告数 63例】
- 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 4例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

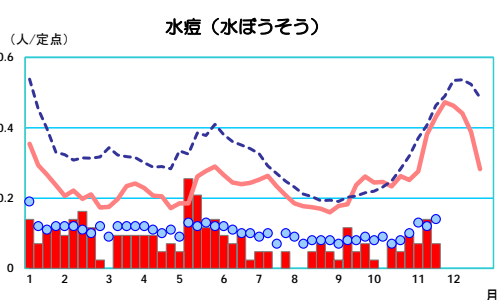
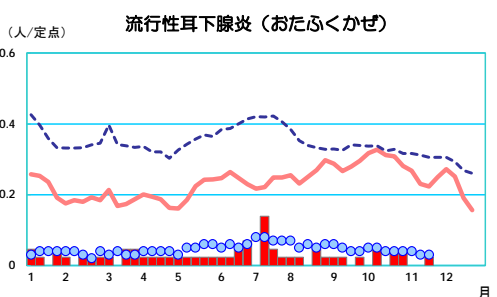
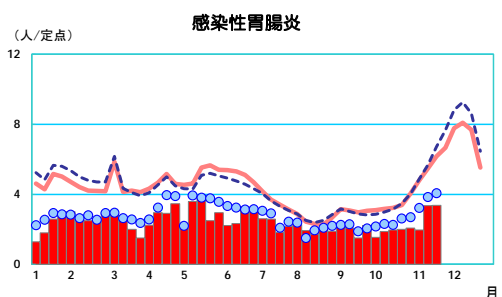
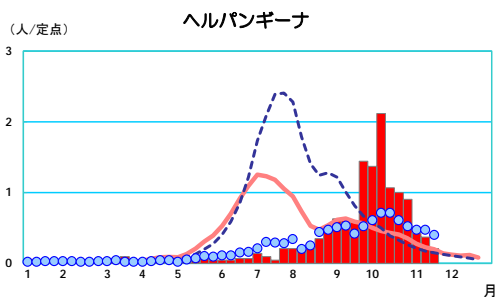
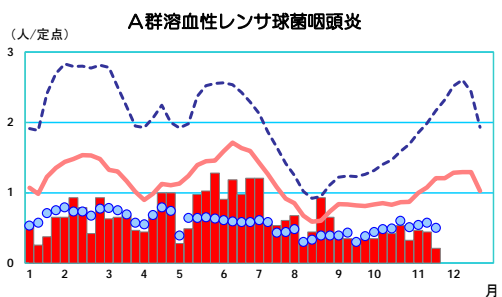
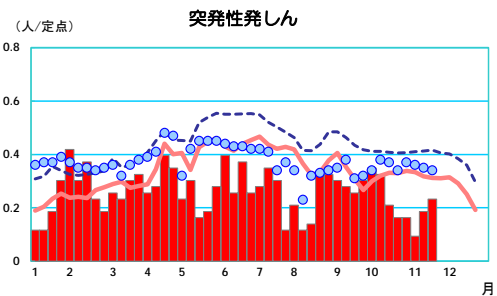
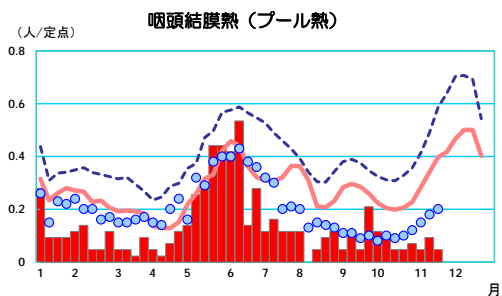
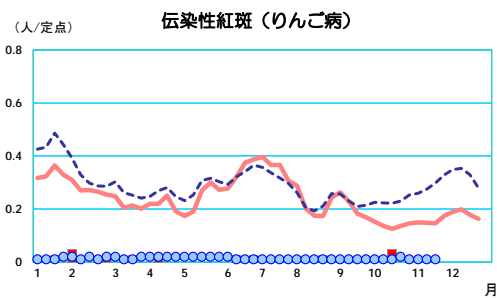
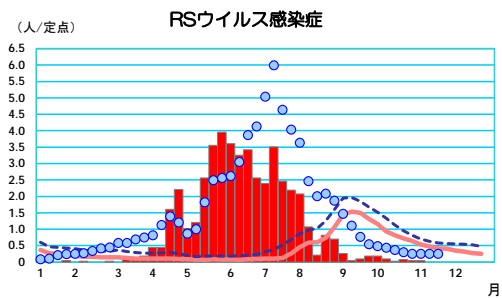
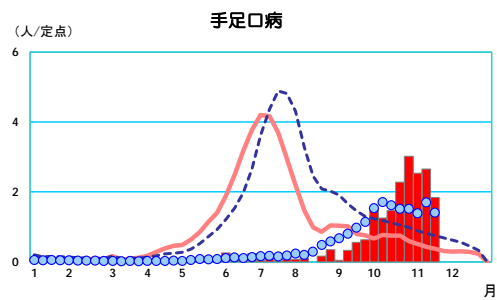
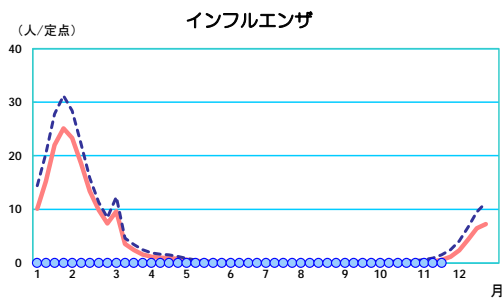
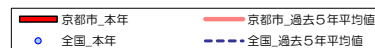
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 37	145
	② 手足口病	1. 84	79
	③ 突発性発しん	0. 23	10
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 21	9
	④ ヘルパンギーナ	0. 21	9
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

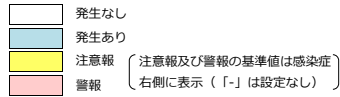
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年12月1日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

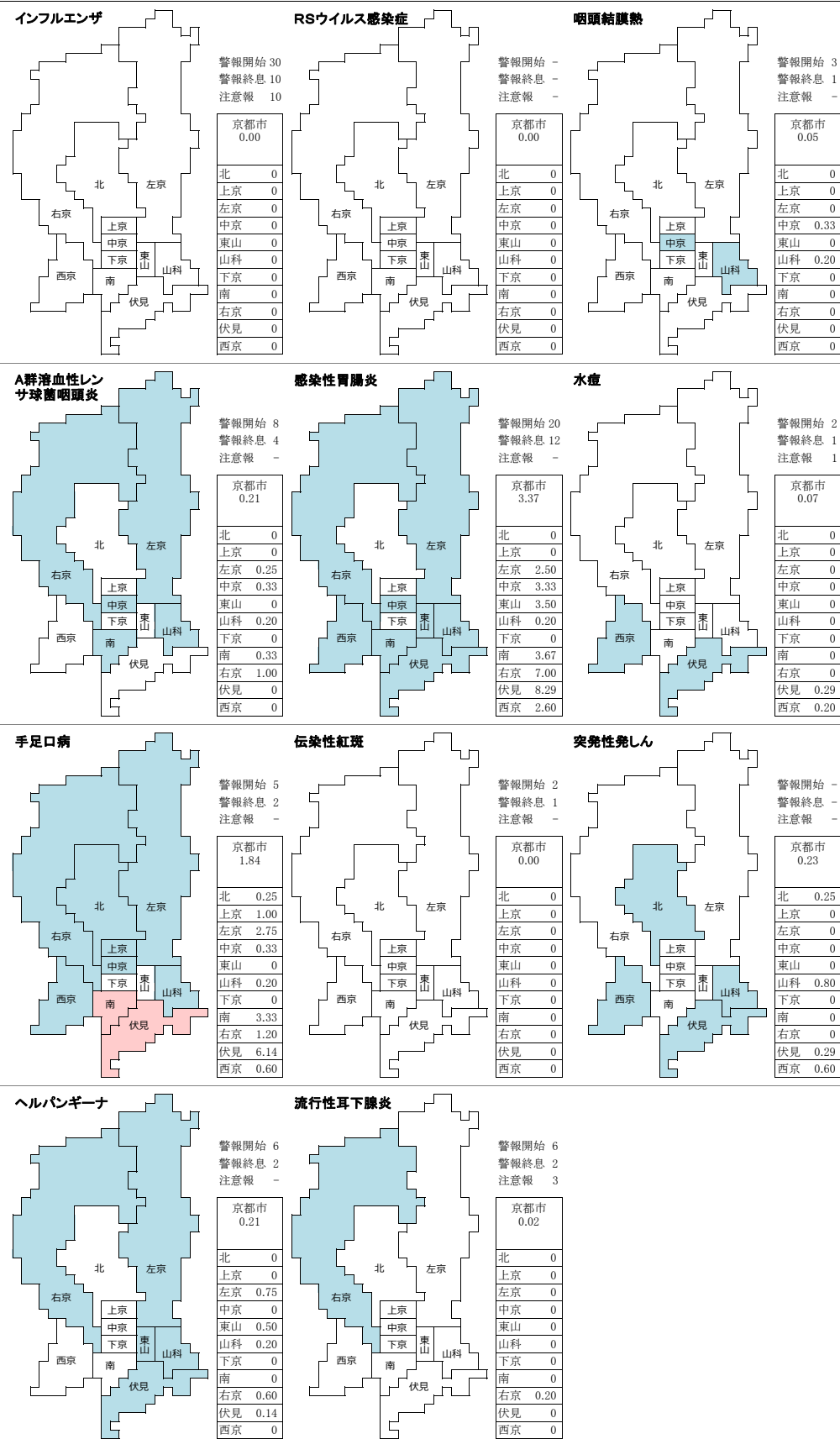
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第47週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第47週(11月22日～11月28日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

世界保健機関(WHO)は後天性免疫不全症候群(AIDS／エイズ)の蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、毎年12月1日を「世界エイズデー」に制定し、世界各国でAIDSに関する啓発活動を行っています。

AIDSはレトロウイルス科レンチウイルス属のヒト免疫不全ウイルス(HIV)を原因とする感染症です。感染経路は性的接触や母子感染(胎盤や産道、母乳を介するもの)の他、輸血や注射器の使い回し等であり、HIVを含む血液や体液が粘膜や傷口から直接体内に入らない限りは感染しません。なお、涙や唾液等にはほぼウイルスが存在せず、HIVは環境中で速やかに壊れてしまうため、風呂やタオルの共用によって感染した事例は知られていません。

現在ではHIVに万一感染しても適切な治療を受けることで、AIDSの発症が抑えられるようになりました。また、早期に治療を開始したHIV患者の平均余命は平均寿命とほぼ同じといわれており、治療によりHIVが検出できない程度に抑えられている患者はHIVを感染させないとされています。かつての「死に至る病」というイメージはもはや過去のもので、HIVに関する正しい知識の普及と早期の診断・治療が、感染拡大防止や患者の方の生活の質の向上に繋がります。

全国におけるAIDSの新規報告件数の推移を見ると、平成20年まで増加を続けていましたが、平成21～26年には年間約1,500件程度で横ばい状態となり、平成27年以降は毎年微減し、令和2年にはHIV感染者が747件、AIDS患者が347件で、両者を合わせて1,094件となっています(図1:棒グラフ)。保健所等におけるHIV抗体検査件数(図1:折れ線グラフ)の年度推移は、年々増加し平成20年に14万件でピークを迎えた後、10万件台で推移していましたが、昨年は半減しました。

また、京都市のAIDSの新規報告件数は、毎年15件前後で推移しておりましたが、本年は第47週まででHIV感染者が1件、AIDS患者が3件の合わせて4件となっています(図2)。しかしながら、昨年及び本年の年間報告数のうち、AIDS患者(いわゆる「いきなりAIDS」)として報告される割合が5割を超えており、新型コロナウイルス感染症の流行拡大による検査機会の減少や受検控えも懸念されます。

京都市では現在予約制となっていますが、HIV検査、相談を無料・匿名で受けられます。AIDSは早期診断がその後の生活の質を大きく向上させます。不安がある方は早めに検査を受けましょう。詳細につきましては、下記のホームページをご覧ください。

○京都市ホームページ「京都市のHIV検査について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>

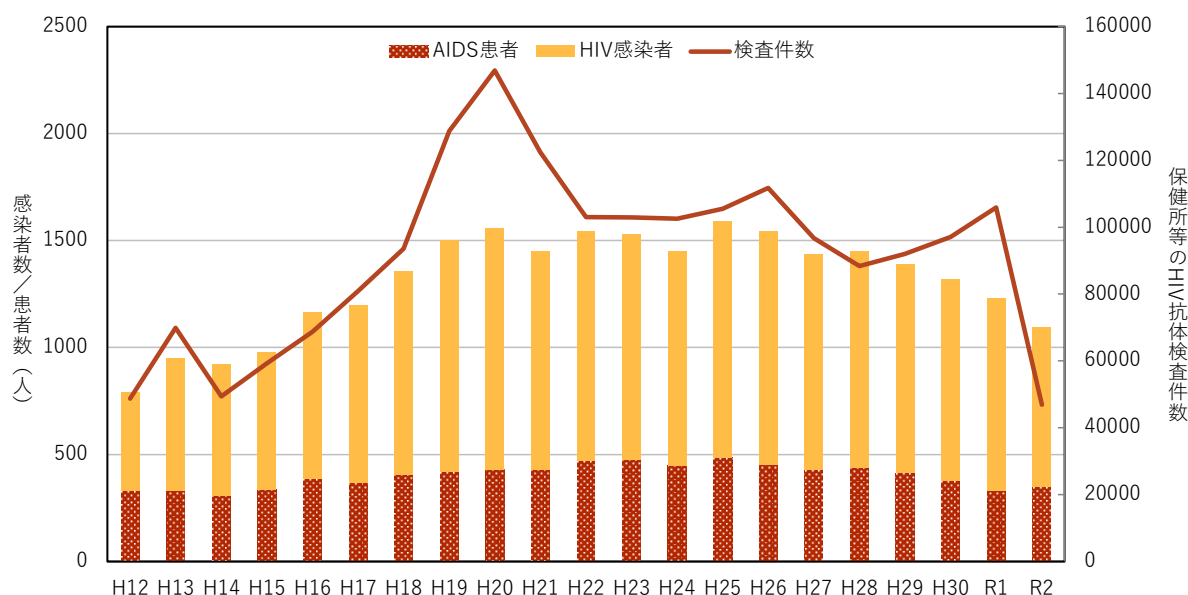


図1. 全国の新規HIV感染者・AIDS患者及び検査件数の年次推移(令和2年まで)

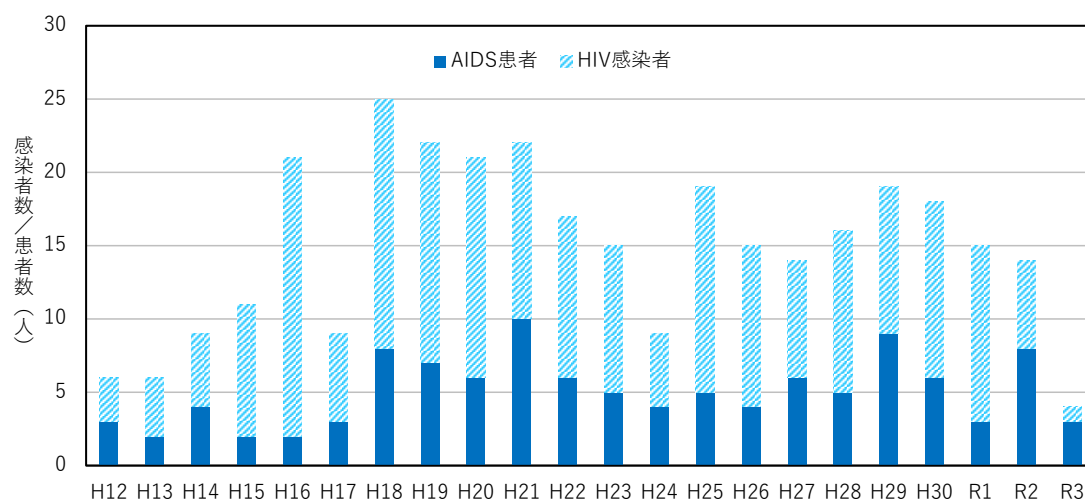


図2. 京都市の新規HIV感染者及びAIDS患者の年次推移(令和3年第47週まで)

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第47週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年11月22日～2021年11月28日

データ入手日:2021年12月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上	30歳～	40歳～				
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	-	-	-	-	1	1	3	-	-	2	-	1	-	1						
感染性胃腸炎		145	-	4	35	34	16	14	6	3	6	2	2	8	7	8						
水 痘		3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
手 足 口 病		79	-	6	38	25	4	2	2	-	-	1	-	1	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		10	-	1	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		9	-	-	3	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上	30歳～	40歳～				
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.21	-	-	-	-	0.02	0.02	0.07	-	-	0.05	-	0.02	-	0.02						
感染性胃腸炎		3.37	-	0.09	0.81	0.79	0.37	0.33	0.14	0.07	0.14	0.05	0.05	0.19	0.16	0.19						
水 痘		0.07	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-						
手 足 口 病		1.84	-	0.14	0.88	0.58	0.09	0.05	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.23	-	0.02	0.12	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.21	-	-	0.07	0.07	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第47週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年12月1日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1	－	1	－	－	－
RSウイルス感染症		1	3	2	2	－	－
咽 頭 結 膜 熱		2	2	3	2	4	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		18	23	14	20	19	9
感染性胃腸炎		84	86	89	84	144	145
水 痘		3	2	4	3	6	3
手 足 口 病		63	98	130	109	114	79
伝 染 性 紅 斑		2	－	－	－	－	－
突発性発しん		9	7	7	4	8	10
ヘルパンギーナ		46	43	39	18	16	9
流行性耳下腺炎		－	2	2	－	－	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	3	－	－	－	1
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		230	269	291	242	311	259

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.01	－	0.01	－	－	－
RSウイルス感染症		0.02	0.07	0.05	0.05	－	－
咽 頭 結 膜 熱		0.05	0.05	0.07	0.05	0.09	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.42	0.53	0.33	0.47	0.44	0.21
感染性胃腸炎		1.95	2.00	2.07	1.95	3.35	3.37
水 痘		0.07	0.05	0.09	0.07	0.14	0.07
手 足 口 病		1.47	2.28	3.02	2.53	2.65	1.84
伝 染 性 紅 斑		0.05	－	－	－	－	－
突発性発しん		0.21	0.16	0.16	0.09	0.19	0.23
ヘルパンギーナ		1.07	1.00	0.91	0.42	0.37	0.21
流行性耳下腺炎		－	0.05	0.05	－	－	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	0.30	－	－	－	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		5.42	6.49	6.76	5.63	7.23	6.10

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。